



長崎県南島原市

社会福祉法人

ほかにわ共和国

ほかにはない、オンリーワンを目指して

福祉課題が多様化する中、福祉サービスを担う側にもその多様化、独自性の追求が求められている。今回訪れたのは、その法人名からすでにユニークさが漂う「ほかにわ共和国」。様々な独自の活動を行うほかにわ共和国に話を伺った。



▲ワークネットやはたのアイロンがけ作業。丁寧にかつスピーディーに行われている。



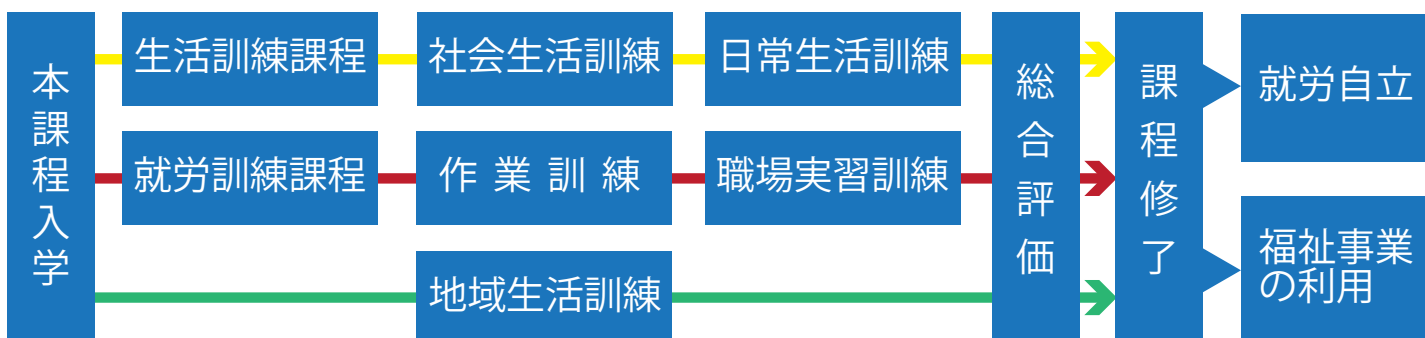
▲17人の利用者が働く

## 「働く」ことの重要性が身につく現場

ワークネットやはたの被服班ではアイロン・ラベル付け、たたみを行っている。扱う商品は誰もが知る若者に人気のアパレルブランド。飛び交う担当職員の指示と駆け足で作業を行う利用者の方の足音で現場は騒々しい。ほかにわ共和国の総合施設長である志賀常盤さんはこう語る。「ほかにわ共和国で重要視しているのは、工賃や利益云々ではなく、『働く』ことで利用者の方のモチベーションを上げること。食べることや遊ぶことだけでなく、働くことが人が生活する上で重要なことだと考えているんです」。

「働く」ことの重要性や喜びを利用者に伝えたい想いは同じくワークネットやはたで取り組む「やはた共育大学」に現れている。やはた共育大学では「共汗共育（きょうかんきょういく）」の理念のもと、生活訓練と就労訓練の課程を「大学」の修学課程とみなし、特別支援学校の卒業生がそのまま「入学」する。自立訓練ではあるが「課程評価」も「卒業式」もある。開校から現在までに、6名の卒業生が一般就労を果たしている。

## ＜やはた共育大学 修学課程＞



## 何事にも挑戦する風土

「ほかにわ共和国の運動会は見ごたえがある、感動しますよ」と力説するのは入社 2 年目の中村汐里さん。長崎県社会福祉協議会が主催する就職合同面談会がきっかけでほかにわ共和国に就職した。彼女が入った年の新しい試みとして、3ヶ月の研修期間中、1ヶ月毎に法人内の各事業所に従事させるといった研修形態を試みた。その甲斐あって今でも各事業所に知り合いや顔馴染みの利用者がいて仕事上のコミュニケーションがはかどるという。もともと法人全体を新卒職員に知ってほしくて始めた研修だが、仕事をすすめる上で大いに役にたっているようだ。職員には「自分の持ち味、自分のしたいことをどんどん培ってほしい」と志賀さんは言う。



▲「利用者とのおしゃべりが楽しい」と話す中村さん



▲時には上司に対してもダメだしができる関係性が自由な発想を生んでいるのかもしれない  
写真左が総施設長の志賀常盤さん

## 「施設が古くからやっていたものを長く続けたい」

一方で、コツコツと行っている努力が評価に結びつくことがある。八雲寮で行っている「道路アダプト」は地域の道路などの補修・清掃を行う活動で、毎月 1 回 2-3km の範囲の道路の清掃を継続して行っている。その長年の功績が認められ一昨年政府から表彰された。志賀さんは独自性だけでなく長期的に続けることの大切さについても語る。「施設が古くからやっていたものを長く続けたい」ほかにわ共和国は法人化されてまだ 10 年と日が浅いが、八雲寮自体は源流である法人より経営移管したため、40年以上の歴史を持つ。八雲寮の利用者の部屋が“〇〇号室”ではなく、相撲部屋のように名前が付いているのは、かつて利用者と一緒に相撲をするのが習慣だった名残から来ている。



▲長年定期的に行われている地域の清掃活動



▲八雲寮での長年の清掃活動が国から表彰された



▲利用者の部屋は相撲部屋を模した名前が付く



# 法人概要

法人名  
**社会福祉法人  
ほかにわ共和国**

本部所在地  
〒859-2606  
長崎県南島原市  
加津佐町甲 5527 番地 2

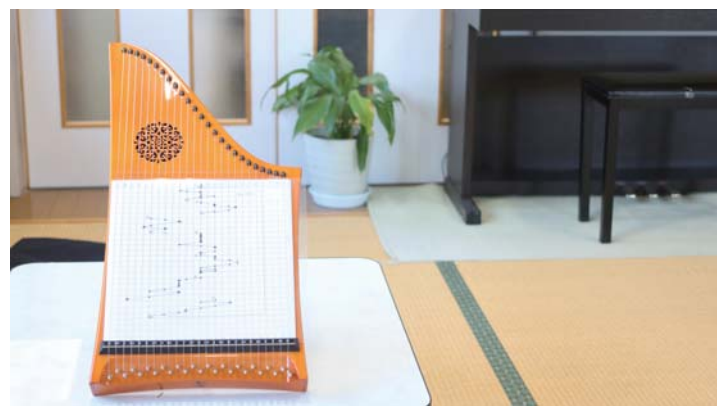
連絡先  
電話：0957-87-2464  
FAX：0957-87-2197



法人ホームページ  
  
<http://www.hokaniwa.jp/>

## 事業所一覧

八雲寮	デイ雲	ワークネット やはた	悠炉里	デイ雲 柿の木
<ul style="list-style-type: none"><li>施設入所支援</li><li>共同生活援助</li><li>短期入所</li><li>生活介護</li><li>相談支援</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>生活介護</li><li>放課後等デイ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>就労継続支援 B 型</li><li>やはた教育高等学校</li><li>自立(生活)訓練</li><li>就労移行支援</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>共同生活援助</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>共同生活援助</li><li>生活介護</li><li>自立(生活)訓練</li><li>放課後デイ</li></ul>



▲デイ雲にあるヘルマンハーブ。扱いやすい操作できれいな音色が出る。

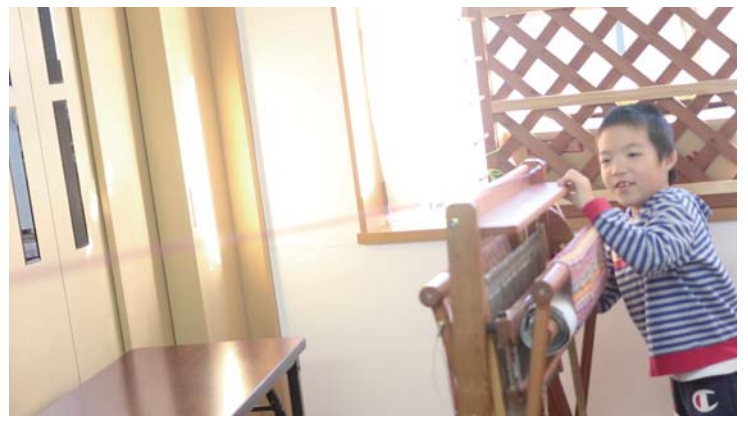


▲デイ雲の利用者の皆さん。リラックスモード。



▲デイ雲 柿の木。写真左の柿の木が名前の由来となった。





▲デイ雲 柿の木では放課後デイを利用する子供たちと楽しく糸をつむいでいく



▲デイ雲 柿の木を象徴するようにつくられている干し柿。真空パックにして販売している。